

白樺の森

札幌市清田区平岡2条5丁目4番10号

TEL: 883-3761 FAX: 883-9437

http://www.hiraoka-l.sapporo-c.ed.jp/ E-mail hiraoka-j@sapporo-c.ed.jp

札幌市立平岡中学校
学校だより

令和2年3月13日
第7号

祝辞

父母と先生の会 会長 矢津田 剛

第35回 卒業証書授与式



ご卒業おめでとうございます。卒業式の中の
校長先生の式辞、PTA会長の祝辞、代表生徒の言葉を掲載します。

式辞

校長 小池 千秋

三年生の皆さん、卒業おめでとうございます。

今年は、感染症防止のため、卒業式を大幅に変更することとなり、とても残念ですが、精一杯の心を込めた、卒業式にしようと、全職員で準備してきました。

いつか、思い出と変わるよう、この最後の時間を、皆さんで大切にしてください。

「卒業証書」も、代表の生徒に、渡すこととなりましたが、義務教育を無事に終えた証として、心の中では、179名、一人一人に、渡していました。

また、先ほどの、中学校生活最後となる「校歌」を聴きながら、爽やかな挨拶で始まった、皆さんとの1年前の出会いを、思い出しました。最上級生として、この1年間の活躍は、本当に見事でした。ともにお祝いをするのができなかった、一・二年生には、「三年生は、卒業式も立派にやり遂げた」と、しっかり伝えたいと思います。

「僕の前に道はない。僕の後ろに道ができる。」

詩人、高村光太郎の言葉です。

それぞれの道を歩み始める皆さん、これからの時代は「予測困難な時代」と言われています。そんな時代だからこそ、人と人との関わりや温もりを失うことなく、一人一人が大切にされる社会を作るため、志高く、常に前を向いて、力強く、歩み続けてください。

「僕の前に道はない。僕の後ろに、道ができる。」

「若人の、夢を奏でた学び舎」を旅立つ、皆さん一人一人の前途に、幸多きことを、心から願って、第35回卒業証書授与式の式辞といたします。

三年生の皆さん、卒業おめでとうございます。

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

保護者の皆さま、この晴れの日を心よりお祝い申し上げますと共に、3年間のPTA活動に際し、ご理解とご協力を頂きました事、深く感謝致しております。

また、日頃から温かく見守ってくださっている地域の皆様にも御礼申し上げます。

そして、校長先生をはじめ教職員の方々には、子ども達の成長を見守り、ご指導くださったこと深謝申し上げます。

卒業生の皆さん、3年間の中学生生活を終えて、4月から始まる高校生活や新生活に希望を膨らませていることでしょう。

思い返すと入学式の時はまだ幼さが残り、制服が大きく慣れない中学生生活への不安も覗かせていた頃が懐かしく思われます。

皆さんは、この3年間で楽しかったことや辛かったこと、そして大人でも経験したことのない出来事があった中で大きく成長されたことでしょう。

皆さんが過ごしてきた15年間で、たくさんの友達と出会えたことは偶然ではなく全てが必然です。これからの出会いと絆を大切につなげていってください。

そんな皆さんに、私から贈る言葉があります。

『考えは言葉になり、言葉は行動となり、行動は習慣となり、習慣は人格となり、人格は運命となる。』

自分の考えを言葉にすることは難しいことです。

皆さんが歩いていく人生の中で、迷ったり悩んだりすることがあると思います。たくさん考えて、それでも何かに迷う時は、親や友達が相談にのり、味方になってくれるはずですよ。

情報過多な時代だからこそ、想像力を働かせて、自分の言動や行動に責任を持って、決める前に踏みとどまって、『これが本当に正しいのか』を考えてみる。そんな誰もがわかっているのに情報のスピードに翻弄(ほんろう)されて出来ていない、『考える事』を大切にしてください。周りや他人に同調するより、他人を貶(けな)すより、自分を律して磨いていくことを大切にしてください。

自信を失いかげ諦めそうになった時には、自分に備わっている力を信じて、努力し、工夫し、一歩ずつ夢に向かって歩んでください。

卒業生の皆さんの輝かしい将来と健康を御祈念し、お祝いの言葉と致します。

お別れの言葉

3年1組 卒業生代表 長谷川 紗季

例年に比べ、暖かな日差しが降りそそいだ北海道の冬も、ようやく終わりを迎えるようとしています。

今日、私たち3年生179名は平岡中学校を卒業します。

本日残念ながら足をお運びいただくことはできませんでしたが、ご来賓の皆さま、保護者の皆さま、先生方。本日はこのような素晴らしい卒業式を催していただき卒業生一同感謝の気持ちで一杯です。

3年前の4月。新しい仲間たちとの出会いに心を弾ませ、またその気持ちと共に不安な気持ちを胸に登校しました。そんな気持ちを和らげてくれたのは両親からの励ましの言葉場と先輩方の歌声でした。

そこから始まった平岡中学校での3年間の中学校生活。あっという間に過ぎていく3年間の日々には数えきれないほどの思い出や宝物がありました。どちらも大切な仲間と共に見つけたものです。ですが、学年が上がるごとに月日が経つのが早く感じてしまい、卒業までの一日一日が惜しく感じるようになりました。そんな日も今日で最後となりました。

明日からは私たちはそれぞれ自分たちが決めた道へ進みます。不安と期待で一杯な私たちですが、進んでいく先には必ず壁があります。壁があるからといって諦めるのではなく、自分にできることを考え、実行し、壁を乗り越えることで自分の力を高め、自分の足で一步一步進んでいきます。

私たちがこの3年間を全力で楽しみ、かけがえのないものに出来たのは、私たちと向き合い続けてくださった先生方、私たちを温かく見守ってくださったご来賓の皆さま、また、この15年間私たちを見守り支え続けてくれた家族のおかげです。そんな温かい支えがあったことを私たちは絶対に忘れません。

最後になりましたが、この平岡中学校で学んだことを糧とし私たちはこれからを歩んでいきます。皆さまのご健康を祈念すると共に感謝し、今後平岡中学校の更なるご発展とご活躍を心からお祈りし、卒業生代表の挨拶とさせていただきます。

送る言葉

2年2組 在校生代表 三浦 一華

春の訪れを知らせる暖かい日差しが感じられる季節となりました。

本日、卒業式を迎えられた3年生の皆様、御卒業おめでとうございます。在校生を代表して心よりお祝い申し上げます。と同時に、例年よりも寂しさが感じられる体育館となり、3年生の皆様を直接お見送りできなかったことをとても残念に思います。

これまでの私達の学校生活を振り返ってみると、充実した日々の裏側にはいつも支えてくださった先輩方の姿がありました。少し袖の長いブレザーを着て、入学式を迎えた不安や期待、緊張ではじけそうな1年生の私達の心を、先輩方は優しくほぐしてくださいました。温かい合唱の歌声によって張りつめていた緊張と不安が期待にかわり、体育館が輝いて見えたことを今でもよく覚えています。部活動や委員会での先輩方は、いつも私達の憧れの存在でした。委員会活動では、どんな仕事にも強い責任感を持ち、慣れない仕事に戸惑う私達を、常に前を向いて導いてくださいました。部活動では、先輩方が優しく迎え入れてくださり、明るく話しかけてくださったおかげで、楽しく活動することができました。委員会や部活動の他にも、陸上競技大会、全校イベント、合唱コンクールなどの行事で、先輩方ももつ強い絆や団結力を感じ、お互いに切磋琢磨している姿を見て、こんなふうになりたいといつからか憧れるようになっていました。特に、合唱コンクールでは、迫力ある歌声と、クラスが一丸となって歌う姿には強く心を動かされ、私達の目指すもとなりました。

そんな先輩方は、この平岡中学校での3年間の学校生活を終え、それぞれの道に歩みを進めることとなります。今、世界は混乱した状態が続き、これからどんな未来が待ち受けているのかは、誰にも分かりません。しかし、離ればなれになっても、この平岡中学校での日々を通して、先輩方の心はいつも強い絆でつながっています。ですから、これから先、どんな困難にも立ち向かって、乗り越えていってくださることを願っています。

先輩方が卒業した後のぼっかりと空いた教室も、今度は私達が埋めることとなります。在校生である私達は、伝統を受け継ぎこの平岡中学校をさらに発展させていけるよう、心身ともに大きく成長させていきたいと思えます。そして、先輩方の誇りとなるような学校を目指して日々精進します。

御卒業される3年生の皆様、私達は先輩方の後輩として共に日々を過ごせたことを、心から嬉しく思います。これまで本当にありがとうございました。

皆様の御健康と御活躍を祈念して、在校生代表の贈る言葉とさせていただきます。